

千葉県福祉サービス第三者評価の評価結果
(放課後児童健全育成事業版)

1 評価機関

名 称	有限会社エテルノ
所在地	東京都台東区台東三丁目2番5号 大林ビル2F
評価実施期間	2024年 8月 6日~2025年 2月28日

2 受審事業者情報

(1) 基本情報

名 称 (フリガナ)	袖ヶ浦東小学校地区放課後児童会 ソデガウラヒガシヨウガッコウホウカゴチゾウドウカイ		
所在地	〒275-0021 千葉県習志野市袖ヶ浦5-11-1		
電 話	047-451-5071	F A X	047-451-5071
ホームページ	習志野市ホームページ https://www.city.narashino.lg.jp/soshiki/jidoikusei/gyomu/otetudai/houkagojidoukai/R3nyuukaishinnsei.html		
経営法人	シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社		
開設年月日	2022年4月1日		
敷地面積	18,333㎡	教室面積	92.47㎡
施設・設備の概要	(居室数) 1ルーム	(設備等)	手洗い場、児童用ロッカー、テーブル
併設しているサービス			

(2) サービス内容

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計		
登録人数/12月現在	8	9	7	4	0	1	29		
土曜日のみ利用(人)									
学校休業期間中のみ利用(人)									
受入れ内容 (〇を付けてください)	延長利用		一時利用		夜間利用		アレルギー児対応		
	障害のある子ども		外国人児童受入れ		その他()				
健康管理	手洗い								
おやつ	有								
利用時間	放課後~19時まで								
休 日	日曜日、祝日								
地域との交流	習志野警察署								
保護者会活動	予算会議、年2回の大掃除の手伝い								

(3) 職員（スタッフ）体制

職 員(人)	常勤職員	非常勤、その他	合 計	備 考
	2	5	7	
専門職員数(人)	保育士	学童支援員	放課後児童支援員	
			4	
	社会福祉士	教員免許	その他専門職員	
		1		

(4) サービス利用のための情報

利用申込方法	習志野市 児童育成課へ書類提出	
申請窓口開設時間	平日 8時30分～17時	
申請時注意事項	アレルギー有無の記載	
サービス決定までの時間	2月中旬～下旬	
利用相談	習志野市 児童育成課	
利用代金	月額8000円（8月のみ月額9390円）	
おやつ代金	月額2000円	
苦情対応	窓口設置	シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社
	第三者委員の設置	無

3 事業者から利用（希望）者の皆様へ

<p>サービス方針 (理念・基本方針)</p>	<p>一人一人の子どもの心身に寄り添いながら放課後児童会運営を行います。放課後児童会は、小学校を終えた子どもたちが帰ってくる「第2の我が家」です。同時に、放課後児童会でしか体験できないさまざまなことも経験できます。また、他学年や地域との交流等、子どもたちのコミュニケーション能力が養え、心身ともに大きく成長できる貴重な場所（時期）でもあります。当社は、放課後児童会をただの居場所ではなく、子どもたちが楽しみながら、学びながら生活できる場にしていきます。“早く放課後児童会に帰りたい”と思ってもらえるよう「5つの運営方針」に基づいて運営を行います。</p> <p>【安心・安全】全ての活動における考え方の起点は、子どもの「安心・安全」です。子どもと保護者の皆さまが安心してご利用いただける、子どもが安全に過ごすことができるように運営をします。</p> <p>【温かい気持ち】一人一人の子どもに対し、愛ある気持ちで接します。そして、集団生活の中で他の人を尊重し、思いやりの気持ちを育みます。結果、皆が優しい気持ちで過ごせる放課後児童会運営をします。</p> <p>【自立心を育む】子どもたち一人一人が自ら積極的に考え、決断し、行動し、そこに責任を持つことにより、自主自立を培うよう支援します。子どもが主人公となる居場所作りを行います。</p> <p>【楽しく学ぶ】子どもが「楽しい」と感じられる放課後児童会運営をします。ただし、単に「楽（らく）」ということではなく、皆でともに楽しみながらも“学び”がある日常生活を送ります。</p> <p>【アクティブ】子どもが健全に育っていくために、遊びは欠かせません。楽しく体を動かしながら多くの気づきを与えます。遊びを通じて、自身を守る力、行動する力、育む力を育成します。</p>
<p>特 徴</p>	<p>弊社独自の動画コンテンツや工作等の豊富なツールを用いており、また責任者も児童が楽しむコンテンツ提供に力を注いで児童を飽きさせず、毎日来たいと思わせる運営に努めております。</p>
<p>利用（希望）者 へのPR</p>	<p>袖ヶ浦東放課後児童会では、安心して安全は環境の中、経験豊富な職員が子どもたちを見守ります。多彩なプログラムを通じて、学習支援やスポーツなどのアクティビティを提供し、子どもたちの興味や才能を育むことを大切にしています。また、同年代の友達と交流することで、友情を深め社会性を育む貴重な機会にもなります。保護者の方々にとっても学校帰りに安心して過ごせる場所を提供することで、日々の負担を軽減できる点も魅力です。さらに、柔軟な利用時間を設定しており、学校終了後から利用可能です。ぜひこの機会に、袖ヶ浦東放課後児童会をご利用いただき、お子様の成長を共にサポートしていきましょう。</p>

福祉サービス第三者評価総合コメント

特に力を入れて取り組んでいること
子どもの出欠管理は連絡システムを活用し、子どもの所在を保護者と共有できるようにしている
子どもの出欠席に関しては連絡システム「ハグノート」に予め連絡してもらい、その情報をホワイトボードで管理して全職員で共有している。子どもの安全を守るためには、子どもの所在を保護者と共有することが大切であることから、システムを活用した出欠管理が行われている。このシステムでは、子どもが入退室した際にQRコードを読み込ませると、入退室の連絡が保護者へ発信される仕組みであるため、特に一人で帰る子どもの保護者には安心できるシステムのひとつではないだろうか。休みの連絡などもこのシステムを使ってできるため、保護者満足度にも繋がっている。
子ども同士の関係を豊かにし、子ども同士が意見を出し合う機会を設けている
当児童会では、年度のスローガンを子どもたちで話し合い決めている。今年度は、「毎日を大切にすごそう」をスローガンにし、自分たちで掲示物を作成してみんなが良く見える場所に大切に掲示している。行事などでは、材料などは児童会側で揃えているが、子どもの発想で企画、運営に取り組めるように子どもの主体性を大切にしている。グループ分けについても縦割りを意識し、子どもが協力しながら楽しく取り組めるように支援している。
発達段階に応じた玩具や環境を整え、子ども自ら遊びを選び楽しめるように支援している
子どもが自ら制作を楽しむように、文具やさまざまな材料、教材、廃材などを用意し自由な発想のもとで楽しむ環境を整えている。また、壁の一面を使って、季節や行事などを感じられる制作物を子どもが自由に貼れるようにしている。施設内には、個人で遊べるもの、ゲーム性があり複数で遊べるもの、子どもに人気のあるキャラクターのカードゲームなど、子どもが好きなものを選んで遊べるように環境設定をしている。職員も人的環境として時には遊びに加わり、遊び方を伝えることや、子どもの気持ちに寄り添った対応をし、みんなが楽しめるように努めている。書籍は学年性別問わず楽しむことができるように、絵本や学習漫画以外にも少女小説や少年漫画等も揃えている。
社会を健康に美しくする企業を目指しながら、質の高い保育サービスの提供をしている
当施設を運営する法人は、「未来の子供たちのために」という企業理念のもと、安心・安全・笑顔の日々を提供し、社会を健康に美しくする企業を目指している。この理念に基づき、子どもたちの心の居場所を作ることが基本方針とし、生活習慣の確立やコミュニケーション能力の向上を図るためのさまざまな経験を提供している。職員の行動規範は運営マニュアルに示され、定期的なミーティングで理念や基本方針が周知されている。また、法人本部では社会福祉事業全体の動向を把握し、地域ニーズに対応した事業経営を維持・改善している。職員の意見を積極的に取り入れ、組織的な取り組みを行うことで、質の高い保育サービスの提供と経営の維持・改善に努めている。

さらに取り組みが望まれるところ

職員間のコミュニケーション不足に取り組み、働きやすい環境整備を求めたい

当施設では、理念や基本方針が職員に周知されているものの、実際の業務において理念の実践が十分に行われていない場合がある。特に、職員間のコミュニケーションや情報共有が不足していることが課題となっている。定期的なミーティングや研修が行われているものの、職員の意識向上やスキルアップに対する取組が不十分であると感じる。また、職員の意見を積極的に取り入れる姿勢は評価されるが、実際に意見が反映されるまでのプロセスが不透明であり、改善の余地がある。さらに、職員の負担が大きくなりがちであり、働きやすい環境の整備を求める。

保護者への情報提供を十分に行い、利用者満足の向上に向けた取り組みに期待したい

当施設では、子どもたちが安心して過ごせる環境を提供しているものの、保護者からの意見や要望が十分に反映されていないと感じることがある。特に、保護者への情報提供が不十分であり、施設の運営方針や活動内容についての説明が不足している場合がある。また、保護者会やアンケート調査の結果が具体的な改善策に結びついていないことが課題。さらに、子どもたちの個別のニーズに対応するための取り組みが不十分であり、よりきめ細やかな支援が求められる。総じて、利用者満足の向上に向けた取り組みが必要であり、保護者とのコミュニケーションを強化することを望める。

<評価を受けて、受審事業者の取り組み>

今回評価していただいた取り組みに対して評価された点は継続して続けて行って参ります。また改善点として職員が連携とりやすく状況づくりし意識向上に繋がる取り組みを行うよう努めます。また保育保護者の意見、要望を反映しより良い児童会づくりに取り組んで参ります。

放課後児童健全育成事業 【共通評価基準】

貴事業所の実態やサービスの質については、コメントに記載しています。

【評点基準】

「a」…… 標準項目をすべて満たした状態

「b」…… 標準項目をひとつでも満たしていないものがある状態

「c」…… 標準項目をひとつも満たしていない状態

I 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		評点	<input checked="" type="checkbox"/>	標準項目
1	① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 理念、基本方針が放課後児童クラブ内の文書や広報媒体(パンフレット、ホームページ等)に記載されている。
	コメント		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 理念は、放課後児童クラブが実施する福祉サービスの内容や特性を踏まえた放課後児童クラブの使命や目指す方向、考え方を読み取ることができる。
	当放課後児童クラブ(以下、当施設とする)を運営する法人は、「未来の子供たちのために」という企業理念を掲げ、ホームページにて公表している。この理念のもと、「安心」「安全」「笑顔」の日々を作り、事業活動を通じて「人と人との絆を育み、社会を健康に美しくする企業」を目指している。施設の基本方針として「子どもたちの『心の居場所』を作る」ことを掲げ、単なる遊びにとどまらず、きちんとした生活習慣を身につけてもらうことを目指している。この理念・方針に沿って、子ども一人一人の心身に寄り添いながら運営を行い、小学校を終えた子どもたちが「第2の我が家」として安心して過ごせる場所を提供している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 基本方針は、放課後児童クラブの理念との整合性が確保されているとともに、職員の行動規範となるよう具体的な内容となっている。
	具体的には、放課後児童クラブでしか体験できないさまざまな経験を提供し、他学年や地域との交流を通じてコミュニケーション能力を養い、心身ともに大きく成長できる貴重な場として機能している。職員の行動規範については、放課後児童クラブ運営マニュアルに示されており、月1回のミーティングや毎日のミーティングで理念や基本方針の内容を職員に周知している。また、子どもや保護者に対しては、法人ホームページや入所説明会において、企業理念や運営方針を記載したパンフレットを用いて説明している。今後も引き続き、質の高い保育サービスを提供し、子どもたちの未来を支えていくことが期待される。		<input checked="" type="checkbox"/>	エ 理念や基本方針は、会議や研修会での説明、会議での協議等をもって、職員への周知が図られている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 理念や基本方針は、わかりやすく説明した資料を作成するなどの工夫がなされ、子どもや保護者等への周知が図られている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 理念や基本方針の周知状況を確認し、継続的な取組を行っている。

I-2 経営状況の把握

I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		評点	<input checked="" type="checkbox"/>	標準項目
2	① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 社会福祉事業全体の動向について、具体的に把握し分析している。
	コメント		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 地域の各種福祉計画の策定動向と内容を把握し分析している。
	当施設を運営する法人では、社会福祉事業全体の動向を把握するために、学童事業本部での情報収集を行っている。所属自治体の方針についても担当課と情報交換を行い、毎月の習志野市地区会議で最新情報を収集している。このように収集された社会福祉全体の動向や地域ニーズに関する情報を基に、会社内で分析し、必要な対応を検討している。また、各施設のコストや入退会の推移、トラブルなどの情報も分析し、その結果を各施設と共有することで、経営状況の改善に努めている。経営状況の分析結果や外的動向に関する情報は、中・長期計画や各年度の事業計画に反映させることにより、環境変化に適切に対応した事業経営を維持・改善している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 利用者数・利用者像等、放課後児童クラブのニーズ、潜在的利用者に関するデータを収集するなど、放課後児童クラブが位置する地域での特徴・変化等の経営環境や課題を把握し分析している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 定期的に放課後児童クラブのコスト分析や放課後児童クラブ利用者の推移、利用率等の分析を行っている。

放課後児童健全育成事業
【共通評価基準】

3	② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	経営環境や実施する福祉サービスの内容、組織体制や設備の整備、職員体制、人材育成、財務状況等の現状分析にもとづき、具体的な課題や問題点を明らかにしている。
	コメント		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	経営状況や改善すべき課題について、役員(理事・監事等)間での共有がなされている。
	当施設では、経営上の課題を解決するために、職員の意見を積極的に取り入れ、職員同士の検討の場を設けるなど、組織的な取組を行っている。具体的には、地区会議を定期的開催し、児童会内での情報共有を図っている。また、経営環境や実施する福祉サービスの内容、組織体制や設備の整備、職員体制、人材育成、財務状況などの現状分析を行い、具体的な課題や問題点を明らかにしている。法人本部では、複数の放課後児童クラブを運営する中で、役員間での共有や職員への周知の方法、改善へ向けての仕組みなど、具体的な内容についても検討し、実施している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	経営状況や改善すべき課題について、職員に周知している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	経営課題の解決・改善に向けて具体的な取組が進められている。

**放課後児童健全育成事業
【共通評価基準】**

I-3 事業計画の策定

I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		評点	<input checked="" type="checkbox"/>	標準項目
4	① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 中・長期計画において、理念や基本方針の実現に向けた目標(ビジョン)を明確にしている。
	コメント		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 中・長期計画は、経営課題や問題点の解決・改善に向けた具体的な内容になっている。
	当施設を運営する法人では、親会社であるシダックス株式会社からの「中期経営計画」を基に、3年間の目標を定めている。この中期経営計画はホームページに掲載しており、透明性を持って公開されている。世情や状況に応じて計画の見直しを行い、環境変化に適切に対応した事業経営の維持・改善を図っている。このように、法人本部では中・長期計画の策定を通じて、組織として取り組むべき放課後児童クラブの全体的な課題を明確にし、対策を講じている。経営状況の把握と分析に基づき、具体的な課題や問題点を抽出し、計画に反映することで、経営課題の解決と改善を目指している。これにより、放課後児童クラブの運営が一貫して行われ、子どもたちにとって安心して過ごせる環境を提供している。当施設の取組は、親会社の計画に基づき、組織全体での課題解決を目指すものであり、今後も引き続き、質の高い福祉サービスの提供と経営の維持・改善に努めていくことが期待される。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 中・長期計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 中・長期計画は必要に応じて見直しを行っている。
5	② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 単年度の計画には、中・長期計画の内容を反映した単年度における事業内容が具体的に示されている。
	コメント		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 単年度の事業計画は、実行可能な具体的な内容となっている。
	当施設を運営する法人では、事業計画の策定において組織的な取組を行っている。各年度事に事業本部長による「役員目標(行動目標)」が発表され、単年度の計画を策定している。この計画には、予算数値が各年度に合わせて策定され、毎月の役員会議・支店長会議・所長会議・マネージャー会議で収支状況の確認を行っている。マネージャーが収支状況を管理し、必要な場合には統括責任者や現場責任者に修正依頼の指示を出すことで、収支管理を徹底し、経営環境や経営状況の把握・分析に基づく適切な経営が行われている。また、事業計画の内容は書面で確認し、取組状況について運営主体から聴取して確認している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 単年度の事業計画は、単なる「行事計画」になっていない。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 単年度の事業計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		評点	<input checked="" type="checkbox"/>	標準項目
6	① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 事業計画が、職員等の参画や意見の集約・反映のもとで策定されている。
	コメント		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 計画期間中において、事業計画の実施状況が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて把握されている。
	当施設では、事業計画の策定において職員の意見を積極的に取り入れる取組として、職員会議で意見交換を行い、年度のイベント計画を策定している。このように、職員が計画策定に参画することで、計画の理解と実施に対する意識を高めている。また、有資格者の育成を重視しており、適宜資格受講支援を行っている。法人本部でも複数の放課後児童クラブを運営する中で、取組を評価し、計画の策定と実施を統括している。このように、当クラブでは職員の参画を重視し、事業計画の策定・実施を通じて、質の高いサービス提供と持続可能な経営を目指している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 事業計画が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて評価されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 評価の結果にもとづいて事業計画の見直しを行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 事業計画が、職員に周知(会議や研修会における説明等)されており、理解を促すための取組を行っている。

放課後児童健全育成事業
【共通評価基準】

7	② 事業計画は、子どもや保護者等に周知され、理解を促している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	事業計画の主な内容が、子どもや保護者等に周知(配布、掲示、説明等)されている。
	コメント		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	事業計画の主な内容を保護者会等で説明している。
	当施設では、子どもや保護者への周知に向けて、おたよりの配布および保護者会での説明を行っている。おたよりは、わかりやすく簡潔な内容で作成されており、主な活動内容や事業計画の要点がまとめられている。これにより、保護者の皆様がクラブの意図や方向性を理解しやすくなっている。保護者会では、さらに詳細な説明が行われ、質疑応答を通じて疑問点を解消する機会を提供している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	事業計画の主な内容を分かりやすく説明した資料を作成する方法によって、子どもや保護者等がより理解しやすい工夫を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	事業計画については、子どもや保護者等の参加を促す観点から周知、説明の工夫を行っている。

放課後児童健全育成事業 【共通評価基準】

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		評点	<input checked="" type="checkbox"/>	標準項目
8	① 放課後児童クラブの質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 組織的にPDCAサイクルにもとづく放課後児童クラブの質の向上に関する取組を実施している。
	コメント		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 放課後児童クラブの内容について組織的に評価(C:Check)を行う体制が整備されている。
	当施設では、独自アプリケーションの「学童ポータル」に研修システム「チャイルドケアプログラム」を導入し、職員の質の向上に努めている。また、職員に対してスキルの自己評価を実施し、責任者がチェックシートをもとに職員との面談を行い、スキルや業務に対する理解を深めるための擦り合わせを行っている。 さらに、マネージャーや統括責任者が定期的に巡回し、現場の状況を共有することで、必要に応じた指導を行うことにより、組織全体としてのPDCAサイクルに基づく質の向上に取り組んでいる。第三者評価については今回が初めての受審となりますが、これまでに市による巡回訪問があり、その際の指摘や提案を活かして改善を進めている。複数の放課後児童クラブを経営する法人本部でも、同様の取り組みを評価し、全体的な質の向上を目指している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 定められた評価基準にもとづいて、年に1回以上自己評価を行うとともに、第三者評価等を定期的に受審している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ <input type="checkbox"/> 評価結果を分析・検討する場が、組織として位置づけられ実行されている。
9	② 評価結果にもとづき組織として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 評価結果を分析した結果やそれにもとづく課題が文書化されている。
	コメント		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 職員間で課題の共有化が図られている。
	当施設では、職員会議での検討を通じて課題を共有している。これにより、改善策や改善計画の策定を行い、実施状況を定期的なミーティングで確認している。具体的な取り組みとして、訪問調査時に評価結果の分析結果や課題を検討過程の記録も含めて確認し、改善の課題についての評価結果にもとづいた改善策や改善実施計画を作成している。これらの計画は、書面で確認し、実施された改善策についても聴取して確認している。また、中・長期的な検討や取り組みが必要な改善課題については、中・長期計画に反映させている。複数の放課後児童クラブを経営する法人本部でも、経営全体の課題に対する取り組みを評価し、全体的な質の向上を図っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 評価結果から明確になった課題について、職員の参画のもとで改善策や改善計画を策定する仕組みがある。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 評価結果にもとづく改善の取組を計画的に行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 改善策や改善の実施状況の評価を実施するとともに、必要に応じて改善計画の見直しを行っている。

**放課後児童健全育成事業
【共通評価基準】**

II 組織の運営管理

II-1 管理者の責任とリーダーシップ

II-1-(1) 運営主体の責任が明確にされている。		評点	<input checked="" type="checkbox"/>	標準項目
10	① 運営主体は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 運営主体は、自らの放課後児童クラブの経営・管理に関する方針と取組を明確にしている。
	コメント		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 運営主体は、自らの役割と責任について、組織内の広報誌等に掲載し表明している。
	当施設では、経営・管理に関する方針を「放課後児童運営マニュアル」に明記し、組織内に周知徹底している。具体的には、統括責任者や施設長の業務を一覧で書面化し、社内報や職員会議を通じて全職員に周知している。 また、有事の際の役割分担や対応方法についても、運営マニュアルや市の安全対策マニュアルに沿って指導を行い、全職員が適切に対応できる体制を整えている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 運営主体は、自らの役割と責任を含む職務分掌等について、文書化するとともに、会議や研修において表明し周知が図られている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 平常時のみならず、有事(災害、事故等)における運営主体の役割と責任について、責任者不在時の権限委任等を含め明確化されている。
11	② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 運営主体は、遵守すべき法令等を十分に理解しており、利害関係者(取引事業者、行政関係者等)との適正な関係を保持している。
	コメント		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 運営主体は、法令遵守の観点での経営に関する研修や勉強会に参加している。
	当施設では、放課後児童健全育成事業の設備、運営に関する基準および運営マニュアル、習志野市関連法案に沿った運営を行うとともに、定期的にコンプライアンス研修を実施している。職員に対しては、個人情報関連の資料を定期的に通達し、テスト形式で知識の向上を図っている。環境配慮の取り組みとして、本部主催のコンテスト形式によるSDGsの取り組みを行い、職員全員が積極的に参加している。今後も引き続き、法令遵守と質の高いサービス提供を目指し、組織的な取り組みを強化していくことが期待される。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 運営主体は、環境への配慮等も含む幅広い分野について遵守すべき法令等を把握し、取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 運営主体は、職員に対して遵守すべき法令等を周知し、また遵守するための具体的な取組を行っている。

**放課後児童健全育成事業
【共通評価基準】**

II-1-(2) 運営主体のリーダーシップが発揮されている。		評点	<input checked="" type="checkbox"/>		標準項目
12	① 放課後児童クラブの質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	運営主体は、実施する放課後児童クラブの質の現状について定期的、継続的に評価・分析を行っている。
	コメント		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	運営主体は、放課後児童クラブの質に関する課題を把握し、改善のための具体的な取組を明示して指導力を発揮している。
	当施設では、クラブの質の向上に関わる課題を理解・分析し、具体的な取組みを通じて組織全体に指導力を発揮している。各教室では毎日ミーティングを行い、職員間で日々の状況を共有している。また、毎月の職員会議を通じて、管理者と統括責任者が日々のコンタクトを取り合い、気になる児童への配慮や対応について早期に解決する体制を整えている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	運営主体は、放課後児童クラブの質の向上について組織内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	運営主体は、放課後児童クラブの質の向上について、職員の意見を反映するための具体的な取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	運営主体は、放課後児童クラブの質の向上について、職員の教育・研修の充実を図っている。
13	② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	運営主体は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、人事、労務、財務等を踏まえ分析を行っている。
	コメント		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	運営主体は、組織の理念や基本方針の実現に向けて、人員配置、職員の働きやすい環境整備等、具体的に取り組んでいる。
	効果的な事業運営を目指し、組織全体で高い意識を共有するための取組として、マネージャー・統括会議で、人事に関する情報の把握・分析を行い、職員の状況を正確に把握している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	運営主体は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、組織内に同様の意識を形成するための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	運営主体は、経営の改善や業務の実効性を高めるために組織内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。

放課後児童健全育成事業
【共通評価基準】

II-2 福祉人材の確保・育成

II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		評点	<input checked="" type="checkbox"/>	標準項目
14	① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。
	コメント		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 放課後児童支援員の配置等、必要な福祉人材や人員体制について具体的な計画がある。
	当施設では、人材育成に関する基本的な考え方は「運営マニュアル」に記載されており、人員体制は仕様書や事業計画書に明示している。人員確保の取組としては、通年WEBでの求人掲載や長期休み時の短期職員の確保のために地域新聞への掲載を行っている。地域の方々を積極的に採用することで、人員確保に努めている。引き続き、計画的な人材の確保と育成を通じて、放課後児童クラブの運営を支え、子どもたちにとって安全で快適な環境を提供していくことが期待される。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 計画にもとづいた人材の確保や育成が実施されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 放課後児童クラブとして、効果的な福祉人材確保(採用活動等)を実施している。
15		② 総合的な人事管理が行われている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>
	コメント		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 人事基準(採用、配置、異動、昇進・昇格等に関する基準)が明確に定められ、職員等に周知されている。
	人事管理に関わる規程(基準)等について整備されており、職員の育成や評価に関する取組が行われている。放課後児童クラブにおいては、その規模や職員体制を勘案し、適切な評価を行うことが重要であるため、「支援員としての職員像」を運営マニュアルに掲載し、人事の基本方針を就業規則に明示している。この方針は入社時および定期的な管理者会議や面談を通じて職員に周知されており、理解と共有が図られている。さらに、人事評価は年2回、評価シートを用いた面談を通じて行われており、職員の評価や意欲向上に努めている。また、能力開発(育成)に関しては、目標管理制度および教育・研修制度が確立されており、職員のスキルアップと専門性の向上を図るための体制が整っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 一定の人事基準にもとづき、職員の専門性や職務遂行能力、職務に関する成果や貢献度等を評価している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 職員処遇の水準について、処遇改善の必要性等を評価・分析するための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 把握した職員の意向・意見や評価・分析等にもとづき、改善策を検討・実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 職員が、自ら将来の姿を描くことができるような総合的な仕組みづくりができています。
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		評点	<input checked="" type="checkbox"/>	標準項目
16	① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 職員の就業状況や意向の把握等にもとづき労務管理に関する責任体制を明確にしている。
	コメント		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 職員の有給休暇の取得状況や時間外労働のデータを定期的に確認するなど、職員の就業状況を把握している。
	実践例では、各管理者職員が得意とする分野を分担し、市内管轄の全教室管理者で連携して教室サポートを行っていることが評価される。また、他の教室への研修として職員が出向き、お互いを高め合うシステムが構築されている点も高く評価できる。勤務管理については、勤怠アプリを導入し、全職員の勤怠を一括管理している。さらに、社内相談窓口が設置され、健康・医療・育児・介護などさまざまな相談に24時間体制で対応している点も評価に値します。また、運動や食事、健康サポートに関する動画配信を行い、職員の健康維持に努めている。職員の個人・家庭環境に応じた時短勤務、在宅勤務、出勤調整システムの導入により、柔軟な勤務体制が整備されている。加えて、サポートチームを立ち上げ、休暇取得時のサポート体制を整え、全職員が働きやすい環境づくりを行っている。総じて、職員の意向把握と対応、相談窓口の設置と解決体制、そして働きやすい環境づくりに関する取り組みが充実しており、組織全体で職員をサポートする体制が整っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 職員の心身の健康と安全の確保に努め、その内容を職員に周知している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 定期的に職員との個別面談の機会を設ける、職員の悩み相談窓口を組織内に設置するなど、職員が相談しやすいような組織内の工夫をしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)に配慮した取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 改善策については、福祉人材や人員体制に関する具体的な計画に反映し実行している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク 福祉人材の確保、定着の観点から、組織の魅力を高める取組や働きやすい職場づくりに関する取組を行っている。

**放課後児童健全育成事業
【共通評価基準】**

II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		評点	<input checked="" type="checkbox"/>	標準項目
17	① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 組織として「期待する職員像」を明確にし、職員一人ひとりの目標管理のための仕組みが構築されている。
	コメント		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 個別面接を行う等組織の目標や方針を徹底し、コミュニケーションのもとで職員一人ひとりの目標が設定されている。
	当施設では、目標管理に関する仕組みや取組を聴取し確認するとともに、目標管理制度に関わる評価基準を整備しており、年2回、評価チェックシートを用いて職員自身が業務の振り返りを行い、管理者との面談を通じて今後の目標を設定している。職員の業務に対する自己評価を促し、管理者との対話を通じて具体的な目標を共有している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 職員一人ひとりの目標の設定は、目標項目、目標水準、目標期限が明確にされた適切なものとなっている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 職員一人ひとりが設定した目標について、中間面接を行うなど、適切に進捗状況の確認が行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 職員一人ひとりが設定した目標について、年度当初・年度末(期末)面接を行うなど、目標達成度の確認を行っている。
18	② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	b	<input type="checkbox"/>	ア 組織が目指す放課後児童クラブを実施するために、基本方針や計画の中に、「期待する職員像」を明示している。
	コメント		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 現在実施している放課後児童クラブの内容や目標を踏まえて、基本方針や計画の中に、組織が職員に必要とされる専門技術や専門資格を明示している。
	当施設の職員は定期的に市の研修や会社のオンライン研修に参加し、知識を高める努力を行っている。さらに、研修計画は正規職員だけでなく、派遣契約職員や臨時職員など全ての職員を対象としており、包括的な教育・研修体制が整備されている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 策定された教育・研修計画にもとづき、教育・研修が実施されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 定期的に計画の評価と見直しを行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 定期的に研修内容やカリキュラムの評価と見直しを行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ア 個別の職員の知識、技術水準、専門資格の取得状況等を把握している。
19	③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	イ 新任職員をはじめ職員の経験や習熟度に配慮した個別的なOJTが適切に行われている。
	コメント		<input type="checkbox"/>	ウ ささまざまな職員が参加して、事例検討を実施している。
	当施設では、全職員が参加できるよう職員ミーティングなどで研修の通達・周知が行われている。さらに、社内オンライン研修はいつでもだれでもアクセスできる環境が整備されており、職員の自主的な学習をサポートする体制が構築されており、研修への参加率を高め、研修成果の共有と活用を促進している。外部研修への参加も含め、組織的に企画・実施されている。		<input checked="" type="checkbox"/>	エ 階層別研修、職種別研修、テーマ別研修等の機会を確保し、職員の職務や必要とする知識・技術水準に応じた教育・研修を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 外部研修に関する情報提供を適切に行うとともに、参加を奨励している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 職員一人ひとりが、教育・研修の場に参加できるよう配慮している。

放課後児童健全育成事業 【共通評価基準】

II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		評点	<input checked="" type="checkbox"/>	標準項目
20	① 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の教育・育成に関する基本姿勢を明文化している。
<p style="text-align: center;">コメント</p> <p>当施設では、受入れに関するマニュアルが適切に作成されており、連絡窓口、子どもや保護者等への事前説明、職員への事前説明、実習生に対するオリエンテーションの実施方法などが記載されている。また、実習生が学童会の業務全般を計画的に学べるよう、受け入れマニュアルを用意しており、学習やスポーツのプログラムなど様々な種類のプログラムが準備されている。本社は障害者雇用を進めており、他の地区では障害者の実習を受け入れている。さらに、近隣の大学生をボランティアとして受け入れ、地域との連携を図っている。総じて、受入れ体制の整備に関する取り組みが充実しており、組織全体での実習生・ボランティア受け入れの計画的な対応が評価される。</p>			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 実習生等の福祉サービスの専門職の教育・育成についてのマニュアルが整備されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 専門職種の特性に配慮したプログラムを用意している。
			<input type="checkbox"/>	エ 指導者に対する研修を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 実習生については、学校側と、実習内容について連携してプログラムを整備するとともに、実習期間中においても継続的な連携を維持していくための工夫を行っている。

II-3 運営の透明性の確保

II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		評点	<input checked="" type="checkbox"/>	標準項目
21	① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア ホームページ等の活用により、放課後児童クラブの理念や基本方針、提供する育成支援の内容、事業計画、事業報告、予算、決算情報が適切に公開されている。
<p style="text-align: center;">コメント</p> <p>当施設では、放課後児童クラブのホームページや広報誌、パンフレット等を通じて、地域の福祉向上のための取組の実施状況が適切に公表されている。また、事業計画や決算情報がホームページに掲載されていること、ご意見に関する情報も掲載されている。このような取り組みにより、地域の福祉向上のための透明性が確保されているが、理念、基本方針、児童館で行っている活動等を説明した印刷物や広報誌などを配布してほしい。</p>			<input type="checkbox"/>	イ 放課後児童クラブにおける地域の福祉向上のための取組の実施状況、第三者評価の受審、苦情・相談の体制や内容について公表している。
			<input type="checkbox"/>	ウ 第三者評価の受審結果、苦情・相談の体制や内容にもとづく改善・対応の状況について公表している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 放課後児童クラブの理念、基本方針やビジョン等について、社会・地域に対して明示・説明し、放課後児童クラブの存在意義や役割を明確にするように努めている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 地域へ向けて、理念や基本方針、児童館で行っている活動等を説明した印刷物や広報誌等を配布している。
22	② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 放課後児童クラブにおける事務、経理、取引等に関するルール、職務分掌と権限・責任が明確にされ、職員等に周知している。
<p style="text-align: center;">コメント</p> <p>公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のために、放課後児童クラブの規模を考慮し、外部の専門家による監査支援を活用し、事業や財務に関するチェックや経営改善を実施している。当施設では、事務が職員給与や消耗品関係の経理管理を行っている。さらに、社内で内部監査を行い、円滑な運営体制を確認している。</p>			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 放課後児童クラブにおける事務、経理、取引等について内部監査を実施するなど、定期的に確認されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 放課後児童クラブの事業、財務について、外部の専門家による監査支援等を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 外部の専門家による監査支援等の結果や指摘事項にもとづいて、経営改善を実施している。

**放課後児童健全育成事業
【共通評価基準】**

II-4 地域との交流、地域貢献

II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		評点	<input checked="" type="checkbox"/>	標準項目
23	① 放課後児童クラブと地域との交流を広げるための取組を行っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 地域との関わり方について基本的な考え方を文書化している。
	コメント		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 様々な社会資源(自治会・町内会や民生委員・児童委員(主任児童委員)等の地域組織、放課後子供教室、児童館等)と連携している。
	同世代の仲間との人間関係をはぐくむ場だけではなく、世代を超えた人間関係を経験し、社会性を養う場になっている。放課後児童クラブは子どもが放課後を過ごす場として機能し、家庭や地域、学校などのさまざまな機関や団体との繋がりを築いている。子どもたちの生活拠点の場として機能するという大きな役割を担いつつ、習志野警察署による交通安全教室を行うなど、今後も継続的に地域社会との交流を深めていくことが期待される。		<input type="checkbox"/>	ウ 子どもの個別の状況に配慮しつつ地域の行事や活動に参加する際、必要があれば職員やボランティアが支援を行う体制が整っている。
			<input type="checkbox"/>	エ 放課後児童クラブへの理解を得るために、地域の人々と放課後児童クラブとの交流の機会を定期的に設けている。
			<input type="checkbox"/>	オ 個々の利用者のニーズに応じて、地域における社会資源を利用するよう推奨している。
24	② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア ボランティア受入れに関する基本姿勢を明文化している。
	コメント		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 地域の学校教育等への協力について基本姿勢を明文化している。
	当施設では、ボランティアに関しては現在受け入れる体制が整っていない。 ボランティア受入れに関する基本姿勢を明文化し、地域の学校教育等への協力についても基本姿勢を明示している。ボランティア受入れについては、登録手続、ボランティアの配置、事前説明等に関する項目が記載されたマニュアルを整備しています。具体的には、施設長やエリア担当がボランティア希望者と面談を行い、人物のチェックと活動内容の確認を実施している。さらに、施設や支援員としての心得を説明し、ボランティア活動誓約書を提出してもらっている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ ボランティア受入れについて、登録手続、ボランティアの配置、事前説明等に関する項目が記載されたマニュアルを整備している。
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		評点	<input checked="" type="checkbox"/>	標準項目
25	① 放課後児童クラブとして必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 当該地域の関係機関・団体について、個々の子どもや保護者等の状況に対応できる社会資源を明示したリストや資料を作成している。
	コメント		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 職員会議で説明するなど、職員間で情報の共有化が図られている。
	当施設では、学校とは日常的に連絡を取り合い、週報や学年だよりを通じて予定を把握し、イベントの日程に反映させている。さらに、子供教室主催の協議会に定期的に出席し、市、学校、児童会、子供教室の責任者が集まり、日頃の児童の様子や気になる点を報告し合い、情報を共有している。職員間での情報共有が円滑に行われており、職員会議などで情報が周知されていることで、職員が必要時に活用できる情報が適切に管理され、共有されている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 関係機関・団体と定期的な連絡会等を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 地域の関係機関・団体の共通の問題に対して、解決に向けて協働して具体的な取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 家庭での虐待など権利侵害が疑われる子どもへの対応について、要保護児童対策地域協議会への参画、児童相談所など関係機関との連携が図られている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 子どもの発達・生活の連続性を保障するために、情報交換や情報共有、職員同士の交流等により、学校や、保育所、幼稚園等との積極的な連携が図られている。

放課後児童健全育成事業
【共通評価基準】

II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		評点	<input checked="" type="checkbox"/>	標準項目
26	① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 放課後児童クラブが実施する事業や運営委員会の開催、関係機関・団体との連携、地域の各種会合への参加、地域住民との交流活動などを通じて、地域の福祉ニーズや生活課題等の把握に努めている。
コメント				
当施設では、福祉ニーズの把握のため、不定期ではあるが保護者会の代表の方々と施設長が予算を含めた会議を行っている。このような会議を通じて、保護者の意見や要望が直接反映される仕組みが整備されている。				
27	② 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 把握した福祉ニーズ等にもとづいて、法で定められた社会福祉事業にとどまらない地域貢献に関わる事業・活動を実施している。
コメント			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 把握した福祉ニーズ等にもとづいた具体的な事業・活動を、計画等で明示している。
当施設では、関係機関との連携の一環として、習志野警察署の交通課に協力を得て、児童会で交通安全教室を開催している。このような活動を今後も継続していく意向が示されており、地域の安全教育に貢献している。総じて、関係機関との連携を通じて地域の公益的な事業・活動が実施されていることが確認され、地域の福祉向上に寄与する取組が評価できる。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 多様な機関等と連携して、社会福祉分野のみならず、地域コミュニティの活性化やまちづくりなどにも貢献している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 放課後児童クラブが有する福祉サービスの提供に関するノウハウや専門的な情報を、地域に還元する取組を積極的に行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 地域の防災対策や、被災時における福祉的な支援を必要とする人びと、住民の安全・安心のための備えや支援の取組を行っている。

**放課後児童健全育成事業
【共通評価基準】**

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

Ⅲ-1-(1) 子どもや保護者等を尊重する姿勢が明示されている。		評点	<input checked="" type="checkbox"/>		標準項目
28	① 子どもや保護者等を尊重した福祉サービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	理念や基本方針に、子どもや保護者等を尊重した福祉サービスの実施について明示し、職員が理解し実践するための取組を行っている。
	コメント		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子どもや保護者等を尊重した福祉サービスの提供に関する「倫理綱領」や規程等を策定し、職員が理解し実践するための取組を行っている。
	当施設では、理念や運営方針は放課後児童クラブマニュアルに明示されており、サービスの提供方法や接し方を学ぶための研修動画が用意されている。これらのマニュアルや研修動画を職員が入社時に視聴し、その内容を深く理解することを行っている。さらに、施設長と職員の定期的な面談を通じて、実際の業務における対応について話し合い、理解を深めている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもや保護者等を尊重した福祉サービス提供に関する基本姿勢が、個々の福祉サービスの標準的な実施方法等に反映されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	子どもや保護者等の尊重や基本的人権への配慮について、組織で勉強会・研修を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	子どもや保護者等の尊重や基本的人権への配慮について、定期的に状況の把握・評価等を行い、必要な対応を図っている。
29	② 子どもや保護者等のプライバシー保護に配慮した福祉サービス提供が行われている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	子どもや保護者等のプライバシー保護について、社会福祉事業に携わる者としての姿勢・責務等を明記した規程・マニュアル等が整備され、職員への研修によりその理解が図られている。
	コメント		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	規程・マニュアル等にもとづいて、プライバシーに配慮した福祉サービスが実施されている。
	プライバシーの保護については個人情報保護マニュアルに明示されており、職員の理解度を深めるために個人情報保護研修・テストを実施している。この研修テキストとテスト問題は毎年更新されており、職員が定期的受講し、理解度を確認している。また、月のお便りや掲示物に児童の写真を載せる際には、事前に保護者に対して写真使用に関するアンケートを取り、許可を得た児童のみを使用している。総じて、プライバシー保護に関する取り組みが十分に整備されており、職員の意識向上と実践が適切に行われている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	一人ひとりの子どもにとって、生活の場にふさわしい快適な環境を提供し、子どものプライバシーを守るよう設備等の工夫を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	子どもや保護者等にプライバシー保護に関する取組を周知している。

放課後児童健全育成事業
【共通評価基準】

Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意 (自己決定)が適切に行われている。		評点	<input checked="" type="checkbox"/>	標準項目
30	① 利用希望者に対して放課後児童クラブ選択に必要な情報を積極的に提供している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 理念や基本方針、実施する育成支援の内容や放課後児童クラブの特性等を紹介した資料を、公共施設等の多くの人が入手できる場所に置いている。
	コメント		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 組織を紹介する資料は、言葉遣いや写真・図・絵の使用等で誰にでもわかるような内容になっている。
	当施設では、利用希望者に対して事前に入所説明会を開いており、年度途中の入会でも、新規入会者向けの説明会を希望者がいれば毎月開催している。子どもや保護者が必要な情報をタイムリーに入手できる体制が整えられている。総じて、福祉サービスの内容がわかりやすく説明されるような取り組みが充実しており、子どもや保護者が情報を簡単に入手できるよう工夫されている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 放課後児童クラブの利用希望者については、個別に丁寧な説明を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 見学、体験入所、一日利用等の希望に対応している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 利用を希望する子どもや保護者等に対する情報提供について、適宜見直しを実施している。
31	② 放課後児童クラブの利用開始・変更にあたり子どもや保護者等にわかりやすく説明している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 放課後児童クラブの利用開始・変更の内容に関する説明と同意にあたっては、保護者等の意向に配慮している。
	コメント		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 放課後児童クラブの利用開始・変更時には、保護者等がわかりやすいように工夫した資料を用いて説明している。
	当施設では、児童会の利用変更に関して市の様式に則り、入所説明会で詳細な説明を行っている。利用変更の手続きがわかりやすく、保護者が必要な情報を正確に理解できる体制が整っている。入所説明会では、市の規定に基づいた資料を使用し、保護者に対して適切かつ詳細な情報提供が行われている。総じて、説明の様式・内容が市の規定に準拠しており、保護者への説明が適切に実施されている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 説明にあたっては、保護者等が理解しやすいような工夫や配慮を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 放課後児童クラブの利用開始・変更時には、保護者等の同意を得たうえでその内容を書面で残している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 特に配慮が必要な子どもとその保護者等への説明についてルール化され、適正な説明、運用が図られている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 特に新1年生の環境変化に配慮して、利用の開始の前に、子どもや家庭の状況、保護者等のニーズ等について、把握確認し、放課後児童クラブでの過ごし方について十分に保護者等に分かりやすく説明し、情報交換をしている。
32	③ 評価外			
Ⅲ-1-(3) 子どもや保護者等の満足度の向上に努めている。		評点	<input checked="" type="checkbox"/>	標準項目
33	① 子どもや保護者等の満足度の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 子どもや保護者等の満足度に関する調査が定期的に行われている。
	コメント		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 子どもや保護者等への個別の相談面接や聴取、懇談会が、子どもや保護者等の満足度を把握する目的で定期的に行われている。
	当施設では、市から保護者に向けて行われた児童会への満足度調査アンケートの結果が児童会に共有され、そのアンケート結果を元に、結果の共有と把握、問題点の原因の分析などが職員会議で協議され、反映されている。この取組により、保護者の意見を反映した具体的な改善策が実施されている。 総じて、利用者満足度の向上に向けた組織的な取り組みが充実しており、福祉サービスの改善に対する積極的な姿勢が評価できる。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子どもや保護者等の満足度に関する調査の担当者等の設置や、把握した結果を分析・検討するために、子どもや保護者自身の参画のもとで検討会議の設置等行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 分析・検討の結果にもとづいて具体的な改善を行っている。

**放課後児童健全育成事業
【共通評価基準】**

Ⅲ-1-(4) 子どもや保護者等が意見等を述べやすい体制が確保されている。		評点	<input checked="" type="checkbox"/>	標準項目
34	① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 苦情解決の体制(苦情解決責任者の設置、苦情受付担当者の設置、第三者委員の設置)が整備されている。
	コメント		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 苦情解決の仕組みをわかりやすく説明した掲示物が掲示され、資料を子どもや保護者等に配布し説明している。
	当施設では、本部にお問い合わせ先を設置している一方、大多数の苦情は教室へ直接問い合わせがある。苦情の申し出は職員全員が受け付け、主任が解決にあっている。また、苦情解決にあたっては、十分に話を聞き、必要に応じて個別対応やヒアリングを実施するなど、相談や意見を言いやすい環境が整備されている。 さらに、苦情解決の仕組みは放課後児童クラブ運営マニュアルに明示されており、対応した事例があった際は連絡ノートに記録されている。苦情があった子どもや保護者に対しては、直接回答を伝えている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 苦情記入カードの配布やアンケート(匿名)を実施するなど、子どもや保護者等が苦情を申し出しやすい工夫を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 苦情内容については、受付と解決を図った記録が適切に保管されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 苦情内容に関する検討内容や対応策については、子どもや保護者等に必ずフィードバックしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 苦情内容及び解決結果等は、苦情を申し出た子どもや保護者等に配慮したうえで、公表している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 苦情相談内容にもとづき、放課後児童クラブの質の向上に関わる取組が行われている。
35	② 子どもや保護者等が相談や意見を述べやすい環境を整備し、子どもや保護者等に周知している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 子どもや保護者等が相談したり意見を述べたりする際に、複数の方法や相手を自由に選べることをわかりやすく説明した文書を作成している。
	コメント		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 子どもや保護者等に、その文章の配布やわかりやすい場所に掲示する等の取組を行っている。
	当施設では、子どもや保護者の相談や意見を電話やメールで受け止め、どの職員でも対応できるようにしている。さらに、相談を受ける際には教室内に児童がいる場合、廊下で話を聞くなどの配慮を行っている。また、相談窓口の明確化と、その内容をわかりやすい場所に掲示する取組が行われている。総じて、子どもや保護者の相談や意見に対する取組が十分に行われており、福祉サービスの質の向上に貢献している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 相談をしやすい、意見を述べやすいスペースの確保等の環境に配慮している。
36		③ 子どもや保護者等からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>
	コメント		<input type="checkbox"/>	イ 意見箱の設置、アンケートの実施等、子どもや保護者等の意見を積極的に把握する取組を行っている。
	当施設では、子どもや保護者の相談や意見に対する対応方法について、チャイルドケアプログラムで学んでいる。相談があった際には、職員同士で話し合い、迅速に回答できるよう努めており、子どもや保護者の意見を日常の会話から把握されている。また、相談や意見への対応は放課後児童クラブ運営マニュアルに明示されており、対応した事例があった際には、連絡ノートに記録されている。相談や意見への回答期限は特に設けられていませんが、1~2日中には回答を出すよう努めている。この対応方針は、定期的にミーティングで話し合っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 相談や意見を受けた際の記録の方法や報告の手順、対応策の検討等について定めたマニュアル等を整備している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 職員は、把握した相談や意見について、検討に時間がかかる場合に状況を速やかに説明することを含め迅速な対応を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 意見等にもとづき、放課後児童クラブの質の向上に関わる取組が行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 対応マニュアル等の定期的な見直しを行っている。

**放課後児童健全育成事業
【共通評価基準】**

Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		評点	<input checked="" type="checkbox"/>	標準項目
37	① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア リスクマネジメントに関する責任者を明確化するなどの体制を整備している。
	コメント		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 事故発生時の対応と安全確保について責任、手順(マニュアル)等を明確にし、職員に周知している。
	当施設では、実際に災害が起きた場合には、習志野市安全マニュアルおよび運営マニュアルに基づいて運営されている。また、訓練に関しても、市のマニュアルや運営マニュアルに加え、習志野管轄の共通マニュアルとして避難訓練想定表に基づいて年間を通じてバランスの良い訓練が整備されている。自治体内の情報は青少年センターより共有されており、事故報告書は市の所定の書式に記入し提出し、会議時に共有されている。 また、ヒヤリハット報告・事故報告の分類や一覧表の作成だけでなく、組織的・継続的な要因分析と改善策・再発防止策の検討・実施が行われている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子どもの安心と安全を脅かす事例の収集が積極的に行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 収集した事例をもとに、職員の参画のもとで発生要因を分析し、改善策・再発防止策を検討・実施する等の取組が行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 職員に対して、安全確保・事故防止に関する研修を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 事故防止策等の安全確保策の実施状況や実効性について、定期的に評価・見直しを行っている。
38	② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 感染症対策について、責任と役割を明確にした管理体制が整備されている。
	コメント		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を作成し、職員に周知徹底している。
	当施設では、感染症対策は習志野市安全マニュアルおよび運営マニュアルに基づいて行われていることが確認されました。さらに、習志野地区における感染対策について、掃除の手順が明確にされ、職員に周知されている点が評価されます。 感染が流行した場合には、市に連絡し、対応を協議した上で、施設の消毒を行っている。総じて、感染症対策が十分に整備され、職員による統一した実施が行われている。また、感染拡大時の対応についても、適切な手順が確立されていることが評価できる。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 担当者等を中心にして、定期的に感染症の予防や安全確保に関する勉強会等を開催している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 感染症の予防策が適切に講じられている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 感染症の発生した場合には対応が適切に行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を定期的に見直している。
39	③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 災害時の対応体制が決められている。
	コメント		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 立地条件等から災害の影響を把握し、建物・設備類、福祉サービス提供を継続するために必要な対策を講じている。
	感染症対策に関して、習志野市安全マニュアルおよび運営マニュアルに基づき、対策が実施されている。さらに、習志野地区における感染対策について、掃除の手順が明確にされ、職員に周知されている。感染が流行した場合には、市に連絡し、対応を協議した上で施設の消毒を行う体制が整えられている。 ハード面では、立地条件から災害の影響を把握し、耐震診断を受けて必要な耐震措置を実施することや、設備等の落下防止措置を講じること、消火設備の充実、食料や備品の備蓄が適切に整備されている。 ソフト面では、災害発生時の体制整備や、子どもおよび職員の安否確認の方法の確立と全職員への周知、災害発生時の初動対応や出動基準を示した行動基準の策定と周知、定期的な訓練の実施が行われている。 総じて、ハード面およびソフト面の両方で実効性の高い対策が適切に整備され、職員や保護者に周知されている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子ども及び職員の安否確認の方法が決められ、すべての職員に周知されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 防災計画等を整備し、地元の行政をはじめ、学校、消防署、警察、自治会、福祉関係団体等と連携するなど、体制をもって訓練を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 保護者等が災害により帰宅困難となった場合の対応方法が決められ、保護者等と共有されている。

**放課後児童健全育成事業
【共通評価基準】**

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

Ⅲ-2-(1) 育成支援の標準的な実施方法が確立している。		評点	<input checked="" type="checkbox"/>	標準項目
40	① 育成支援について標準的な実施方法が文書化され育成支援が提供されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 標準的な実施方法が適切に文書化されている。
	コメント		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 標準的な実施方法には、子どもの尊重、プライバシーの保護や権利擁護に関わる姿勢が明示されている。
	当施設では、育成支援方法が「放課後児童クラブ運営マニュアル」に記載され、動画での研修が行われている。この研修動画は職員が入社時に視聴し、レポートを提出することで理解を深めている。総じて、標準的な実施方法が文書化され、職員に周知され、日常的に活用されている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 標準的な実施方法について、研修や個別の指導等によって職員に周知徹底するための方策を講じている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 標準的な実施方法にもとづいて実施されているかどうかを確認する仕組みがある。
41		② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>
	コメント		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 育成支援の標準的な実施方法の検証・見直しが定期的に実施されている。
	研修動画は随時更新されており、更新があればその都度改めて視聴し、内容によっては地区会議や児童会ごとのミーティングで話し合い、実際の支援に反映させる取り組みが行われている。また、標準的な実施方法に関する文書や研修動画の内容が日常的に活用されており、職員がいつでもアクセスできる状態にされている。総じて、標準的な実施方法に関する文書の改訂記録や検討会議の記録等が適切に管理され、職員に周知されている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 検証・見直しにあたり、育成支援の計画の内容が必要に応じて反映されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 検証・見直しにあたり、職員や子どもや保護者等からの意見や提案が反映されるような仕組みになっている。
Ⅲ-2-(2) 子どもに対する育成支援の計画が策定されている。		評点	<input checked="" type="checkbox"/>	標準項目
42	① 育成支援の計画を適切に策定している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 育成支援の計画策定の責任者を設置している。
	コメント		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 育成支援の計画には、子どもの具体的なニーズが明示されている。
	育成計画は学期（4か月）ごとに支援目標を設定し、学期が終わるごとに次の学期の目標を策定している。支援目標は職員会議で施設長が中心となり、その学期や前年度を振り返りながら支援員全体で考え、共有されている。 また、育成支援の計画には、子どもや保護者の意向が反映されており、具体的な支援目標が設定されている。職員会議を通じて支援目標が共有され、実際の育成支援に反映されている。 総じて、育成支援の計画策定、実施、評価・見直しが適切に行われ、子どもや保護者の希望やニーズが反映された計画が策定されている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 育成支援の計画を策定するため、職員の合議と子どもの意向把握の手順を定めて実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 育成支援の計画どおりに育成支援が行われていることを確認する仕組みが構築され、機能している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 障害のある子どもや特に配慮を必要とする子どもへの対応について検討し、積極的かつ適切な育成支援の提供が行われている。
43		② 定期的に育成支援の計画の評価・見直しを行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>
	コメント		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 見直しによって変更した育成支援の計画の内容を、関係職員に周知する手順を定めて実施している。
	当施設では、成計画は学期（4か月）ごとに支援目標を設定し、学期が終わるごとに次の学期の目標を策定している。支援目標は職員会議で施設長が中心となり、その学期や前年度を振り返りながら支援員全体で考え、共有されている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 育成支援の計画の評価・見直しにあたっては、標準的な実施方法に反映すべき事項、育成支援を十分に提供できていない内容（ニーズ）等、育成支援の質の向上に関わる課題等が明確にされている。

**放課後児童健全育成事業
【共通評価基準】**

Ⅲ-2-(3) 育成支援実施の記録が適切に行われている。		評点	<input checked="" type="checkbox"/>	標準項目
44	① 子どもに関する育成支援実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 子ども の身体状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって把握し記録している。
	コメント		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 育成支援の計画にもとづく育成支援が実施されていることを記録により確認することができる。
	当施設では、児童の身体状況や生活環境は、保護者に入会申請書に記入していただき、必要があればこちらからも追記している。日々の育成支援については、日誌や業務ノートを作成し、日誌は市へ毎月提出しています。業務ノートに関しては、毎日勤務前に目を通すことが義務付けられており、重要な件があれば児童登室前の職員間で行うミーティングで共有している。 総じて、引継ぎや申送り、回覧等の取り組みが適切に行われ、組織全体で情報共有が積極的に進められていることが評価できる。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 記録する職員で記録内容や書き方に差異が生じないように、記録要領の作成や職員への指導等の工夫をしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 組織における情報の流れが明確にされ、情報の分別や必要な情報が的確に届くような仕組みが整備されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 情報共有を目的とした会議の定期的な開催等、部門横断での取組がなされている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 事業所内で情報を共有する仕組みが整備されている。
45	② 子どもや保護者等に関する記録の管理体制が確立している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 個人情報保護規程等により、子どもや保護者等の記録の保管、保存、廃棄、情報の提供に関する規定を定めている。
	コメント		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 個人情報の不適正な利用や漏えいに対する対策と対応方法が規定されている。
	当施設では、児童及び保護者に関する情報は個人情報マニュアルに則って管理している。また、職員は個人情報に関する動画研修を受けて理解を深めている。職員が個人情報保護の重要性を理解し、適切に対応するための基盤を提供している。 このような取組は、情報の保管状況や開示請求への対応、保存と廃棄に関する規程が明確にされ、それが実際に運用されていることを示している。規程に基づく適切な管理体制が整備されていることにより、個人情報の保護が行われている。 総じて、個人情報の管理に関する取り組みが十分に整備されており、職員の理解と実践が適切に行っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 記録管理の責任者が設置されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 記録の管理について個人情報保護の観点から、職員に対し教育や研修が行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 職員は、個人情報保護規程等を理解し、遵守している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 個人情報の取扱いについて、子どもや保護者等に説明している。

放課後児童健全育成事業版 【内容評価基準】

貴事業所の実態やサービスの質については、コメントに記載しています。

【評点基準】

- 「a」…… 標準項目をすべて満たした状態
- 「b」…… 標準項目をひとつでも満たしていないものがある状態
- 「c」…… 標準項目をひとつも満たしていない状態

A-1 育成支援

A-1- (1) 子どもが安心して過ごせる生活の場としてふさわしい環境の整備		評点	<input checked="" type="checkbox"/>	標準項目
A①	① 子どもが安心して過ごせる生活の場としてふさわしい環境を整備している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 生活の場としての機能を満たすための設備及び備品等を備えている。
コメント			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 遊びを豊かにするために必要な遊具及び図書を備えている。
児童会の生活の場として小学校の空き教室を1部屋借りて運営している。設備面では、空調、冷蔵庫、水道、IHコンロ、電子レンジ、机・本棚・個人ロッカーを備えている。また、玩具、図書、教材といった各種備品も備えている。室内にパーティションを配備しており、着替えや体調不良、気分を落ち着けたい時のパーソナルスペースを作る手段として用いている。体調不良が生じた際は、保護者に連絡を取るとともに、マットを敷いてパーティションで囲い、静養できるようにしている。洋服が汚れたときなど、有事の際に使用できるように予備の着替えを児童会に預けている。学習支援については登室して30分は自習時間とし、宿題等の学習もしくは読書の時間として設定している。ドリルなどの学習教材を用意しており、希望者にはコピーして提供している。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 発達段階に応じた遊びと生活の環境を備えている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 体調が悪いときなどに静養できるスペースが確保されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 自習等の学習活動ができる環境を整えている。
A-1- (2) 放課後児童クラブにおける育成支援		評点	<input checked="" type="checkbox"/>	標準項目
A②	① 子どもが放課後児童クラブに自ら進んで通い続けられるように援助している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 入所時や長期休み前等に、子どもが放課後児童クラブでの過ごし方を理解できるように工夫している。
コメント			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 子どもの様子と育成支援の内容を日常的かつ継続的に保護者に伝えている。
保護者には、入所前に入所説明会を行い、児童会でのルールや活動内容を説明している。子どもの様子は、活動報告として毎月のお便りをメールにて配信している。夏休みなど利用時間や生活リズムがかわる際には、職員から一日の過ごし方を伝え、掲示するなど配慮している。子どもの様子に気になることがあれば保護者との連絡システム「ハグノート」を活用してやり取りを行っている。気になる様子があるときなどは、職員間で情報共有し、子どもが児童会に自ら進んで通えるよう援助している。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 放課後児童クラブに通う事の必要性について、保護者と共に子どもの気持ちに寄り添いながら理解を促している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 保護者が年度途中の転居以外で退所を検討している際、その理由を把握し、対応を行っている。
A③	② 子どもの出欠席を把握し、適切に援助している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 子どもの出欠席について、保護者からの連絡であらかじめ確認している。
コメント			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 子どもの出欠席について、当日の変更についても確認できるようにしている。
子どもの出欠席に関しては「ハグノート」に予め連絡してもらい、その情報をホワイトボードで管理して全職員で共有している。当日のハグノートによる連絡については、13時までとし、それ以降の時間は電話連絡により受け付けている。出欠の状況を確認し、保護者や学校から連絡がなく、所在が不明の場合は保護者に電話連絡して確認している。入退室の管理については、子どもが入退室した際にハグノートにQRコードを読み込ませると、入退室の連絡が保護者へ発信される仕組みとなっている。ハグノートを活用し、保護者と相互で子どもの所在を把握できるようにしている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子どもが保護者からの連絡なく欠席したり来所が遅れたりした場合に、速やかに状況を把握し対応している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 子どもの所在が把握できない場合の対応を検討し、あらかじめ保護者へ伝えている。

放課後児童健全育成事業版
【内容評価基準】

A-1- (3) 子ども一人ひとりと集団全体の生活を豊かにする育成支援		評点	<input checked="" type="checkbox"/>	標準項目
A④	① 子ども自身が見通しを持って主体的に過ごせるように援助している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 放課後児童クラブでの過ごし方は、できるだけ簡潔でわかりやすいものとし、子どもが理解できるようにしている。
	コメント		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 子ども一人ひとりにとって無理のない過ごし方となるよう配慮しながら、子ども全体に共通するおおまかな過ごし方や生活時間の区切りをつくっている。
	児童会でのおおまかなスケジュールについては、ホワイトボードに貼りだして子どもが見通しをもって過ごせるようにしている。また、保護者には入所説明会で1日の流れを説明している。夏休み等の長期休暇の際は、児童会で過ごす時間が長くなるため、1日の中で外遊びの回数を増やしたり、全体で工作を行ったり、カードゲーム大会等のイベントをしたりしている。長期休暇中は、食事を児童会で取る機会も増えるため、食後の身体の調子を整えたり、連日の生活リズムの変化による疲れを癒す時間としてリラックスタイムを設けたりしている。リラックスタイムは、「動」的な遊びは控え、座って静かにできる遊びやマットの上で横になって眠るなど、静かに過ごすようにしている。DVDや動画の視聴なども取りいれている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子どもと話し合いながら、遊びや生活の流れや内容を柔軟に活用して子どもが放課後の時間を主体的に過ごせるように援助している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 子どもが集団の中での過ごし方について自分自身で考えられるように工夫している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 放課後児童クラブにおける過ごし方や生活時間の区切り等を保護者に伝えている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 学校が長期休みとなる期間には、夏休み等ならではの過ごし方や活動の工夫や配慮を行っている。
A⑤	② 日常生活に必要となる基本的な生活習慣を習得できるように援助している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 日常生活に必要となる基本的な生活習慣の内容を、子どもが理解できるように伝えている。
	コメント		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 健康や衛生に関すること(手洗いやうがい、衣服の着脱等)が身につくよう援助している。
	入退室時の挨拶や入室した際の手洗い、ロッカーの整理整頓などの基本的な生活習慣は、入会時のレクリエーションや日々の声掛け、帰りの会等で指導し、年間支援計画の目標に取り入れている。子どもたちは、週替わりで当番活動を行っており、挨拶や次の行動に移るなど、声を掛け合いながら行っている。整理整頓に関しては、私物や制作物は個人ロッカーにしまい、週末には全て持ち帰って空にするように指導している。机や床が工作やおやつ、学習教材などでごみが散らかった場合は、小さなブラシと塵取りを貸し出し、集団生活をするうえでみんなが気持ちよく生活するために自分たちの生活の場は自分たちで整備できるよう取り組んでいる。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 持ち物の管理や整理整頓等の生活習慣が身につくよう援助している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 子どもたちが集団で過ごすという特性を踏まえて、集団生活を維持するための活動を分担・協力することを理解できるよう工夫している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 一人ひとりの発達状況に応じた援助とともに、取り組みやすい環境の工夫をしている。

放課後児童健全育成事業版
【内容評価基準】

A⑥	③ 子どもが発達段階に応じた主体的な遊びや生活ができるように援助している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	子ども一人ひとりについて、その発達の状況や養育環境の状況等を把握する必要性を理解している。
コメント			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	年齢や発達の状況、その時々の子心の状況に応じて、子ども自身が遊びを自由に選択できる環境を整えている。
子どもの発達状況や家庭環境については、入会時に申請書に記載してもらい把握している。新入会する子どもの情報は、職員間で共有し、支援に反映している。個人面談も希望時にいつでも対応している。施設内には空箱や使わないダンボールといった廃材を自由に使用できる工作コーナーを設けている。また、ブロックやサッカー盤、人形や着せ替えマグネット等といった子どものニーズに合わせた玩具や、複数人で遊べるボードゲーム、職員が手作りしたカードゲーム等の玩具を取り揃えている。書籍は学年性別問わず楽しむことができるように、絵本や学習漫画以外にも少女小説や少年漫画等を購入している。子どもたちが制作を楽しめるように、季節や行事などを感じられる制作物を自由に貼れるように壁の一面を活用している。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもの来所時には、子どもが安心できるように迎え入れ、子ども一人ひとりの心身の状態を把握している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	一人ひとりの子どもの普段の健康状態や心身の状態についての特徴を把握し、放課後児童支援員等の中でその情報を共有している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	静養や気分転換が必要なことに気づいた時に、適宜対応できるようにしている。
A⑦	④ 子ども同士の関係を豊かに作り出せるように援助している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	子ども同士で遊びを作り出せるような時間や環境を整え、自発的に遊びを展開できるように援助している。
コメント			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	意見の対立やけんか等について、お互いの考え方の違いに気付くこと、葛藤の調整や感情の高ぶりを和らげること等ができるよう援助している。
異年齢による縦の関係を作るため、おやつや昼食、学習の時間に座る席及び班を学年が異なるようにしたうえで、くじ引きで決めている。この席は4ヶ月に1度程度の頻度で変えている。子ども同士で遊びを作り出せるような時間や環境を整え、自発的に遊びを展開できるように、誕生日会で行うレクリエーションはチーム単位で行うゲームを主に行っている。子ども同士で揉めごとがあった際は、双方の話を聞き、どうすれば解決するのかを職員と一緒に考えるようにし、子どもが自らの気持ちを調整できるようになったり、相手を思いやる気持ちが育ったりするよう援助している。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子ども間でいじめの関係が生じないように配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	問題が起きたときには早期対応に努め、保護者や関係機関と連携を取りながら適切に対応するよう努めている。
A⑧	⑤ 子どもが自分の気持ちや意見を表現することができるように援助している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	放課後児童支援員等は子どもの情緒や子ども同士の関係にも配慮し、子どもの意見を尊重している。
コメント			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子どもが放課後児童支援員等に悩みや相談事も話せるような信頼関係を築くように努めている。
職員は、工作や折り紙を子どもと一緒に作ったり、子どもの遊びに混ざったりと、比較的近い距離での見守りを行っている。また、1人で時間を持て余している子どもには積極的に声をかけ、信頼関係の構築に努めている。夏休みには夏祭りを行っており、このイベントでの景品のお菓子や道具は児童会側が用意するものの、職員はあくまでサポート役となり、出し物やルール等は子どもたちで話し合い決めている。飾り付けや折り紙等の景品は自分たちで作るなど、子どもが主体的に夏祭りに参加できるように取り組んでいる。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	行事等を行う際は、子ども同士が意見を出し合う機会を設けている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	子どもが運営に関わる行事等の活動を行う際には、子どもと保護者に活動の目的や大まかな内容を説明している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	子どもが運営に関わる行事等の活動を行う際には、子ども自身が運営に関わる際の段取り等を伝えている。

放課後児童健全育成事業版
【内容評価基準】

A-1- (4) 固有の援助を必要とする子どもへの適切な育成支援		評点	<input checked="" type="checkbox"/>	標準項目
A⑨	① 障害のある子どもの受入れの考え方を理解したうえで、受入れに努めている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 障害のある子どもの利用機会の周知を行っている。
	コメント		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 受入れの判断について、あらかじめ判断の基準や手続等を定めている。
	障害のある子どもの受け入れについては、児童育成課で入会審査を行い、入所決定したら保護者面接をお願いしている。受け入れの際は、個別の支援計画書等があれば写しの提出をお願いし、配慮や支援に反映している。保護者面接で子どもの健康や発達状態、家庭の状況、保護者の意向などをヒアリング、児童台帳に記録し、職員間で共有している。記録と共有は入会後も継続し、支援に繋げている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 障害のある子どもの受入れにあたっては、障害特性を理解した上で、子どもや保護者との面談の機会を持つなどして、子どもの健康状態、発達の状況、家庭の状況、保護者の意向等を個別に把握している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 障害のある子どもの、個々の状況に応じた施設設備や育成支援の内容、職員体制等の環境の整備に関する配慮等を行っている。
A⑩	② 障害のある子どもの育成支援に当たっての留意点を踏まえ、育成支援を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 障害のある子ども一人ひとりの状況や育成支援の内容を記録している。
	コメント		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 記録した内容を、放課後児童支援員等の間で共有している。
	保護者面接結果をもとに子どもの様子を記録する支援ノートを作成し、毎日記入するとともに、日々のミーティングにおいて職員間で共有している。また、毎月の職員会議で支援状況や支援方法を検討し、小学校のクラス担任や養護教諭とも連携して支援の方針を統一するよう取り組んでいる。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 障害のある子どもの育成支援について事例検討する機会を持っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 学校を含む他機関との連携を図っている。
A⑪	③ 特に配慮を必要とする子どもへの対応に当たって、関係機関と連携して適切な支援を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 放課後児童支援員等は、子どもの家庭環境についても配慮し、家庭での養育等について特別な支援が必要な状況を把握した場合には、市町村や関係機関と連携して適切な支援につなげている。
	コメント		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 放課後児童クラブでの生活に特に配慮を必要とする子どもの支援に当たっては、保護者、市町村、関係機関と情報交換を行い、連携している。
	児童虐待が疑われる場合は、各自の判断だけで対応することは避け、学校や上長と協議の上で速やかに市及び児童相談所に報告することとしている。特別な支援が必要な状況を把握した場合には、関係機関と連携して適切な支援に繋げることに期待したい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 児童虐待を発見した後の市町村等への通告の手順や、緊急性があると思われる場合の対応と手順についてあらかじめ定めている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 要保護児童対策地域協議会及び関係機関の構成員となるなど、関係機関と連携、協力できる体制を構築している。

放課後児童健全育成事業版
【内容評価基準】

A-1-(5) 適切なおやつや食事の提供		評点	<input checked="" type="checkbox"/>	標準項目
A⑫	① 放課後の時間帯におやつを適切に提供している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 放課後児童クラブとしてのおやつ役割を考慮して、おやつ提供時間や方法を工夫している。
	コメント		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 子どもたちの状態等を考慮して、おやつの内容を工夫している。
	おやつ提供は15時からと時間を決め、おやつ時間の当番を週替わりで交代しながら子どもの進行のもと班ごとに提供している。当日利用しない子どもも持ち帰ることができるため、下校時に立ち寄って職員と挨拶を交わし、持ち帰る姿もみられる。内容は、あらかじめ栄養バランスを考えて決められたもの2~3品が提供されている。また、おたのしみ用として児童会で保管している在庫分を通常のおやつに加えて提供したりもしている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 落ち着いた環境でおやつを楽しめるようにしている。
A⑬	② 食に伴う事故（食物アレルギー事故、窒息事故、食中毒等）を防止するための対応を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 食に伴う事故（食物アレルギー事故、窒息事故、食中毒等）の緊急時対応のマニュアルを整備し、全職員に周知している。
	コメント		<input checked="" type="checkbox"/>	イ すべての子どものアレルギーの有無を利用開始までに調査し、アレルギーのある子どもについては全職員で情報を共有している。
	子どものアレルギーに関する情報は、入会申請書に記入してもらい把握している。食物アレルギーがある場合は、保護者と相談しておやつの内容を伝え、除去した内容を提供する、もしくは持ち込みをお願いしている。児童会で提供する食品は、納品してからアレルギー表示と賞味期限を確認し、管理シートに記載して管理をしている。アレルギー対策を適切に行うために、職員はアレルギー対応に関する動画研修を受講している。また、壁面にはエピペンの使用法のマニュアルを掲示し、緊急時に備えている。食中毒対策としては、上記のように管理シートによる賞味期限の確認をし、ルールに則り開封後は賞味期限に限らず二日以内に使い切るようにしている。提供している麦茶についても、毎日煮出した麦茶を急速冷却し、冷蔵保存のうえ翌日には使いきるようにしている。お弁当に関しては空調の整った室内で時間まで保管している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 食物アレルギーのある子どもへのおやつや食事の提供について、対応方針を定め、定期的に保護者と相談し決定して調整を行ったうえで、子ども・保護者と緊急時の対応を共有している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 食物アレルギー等の対応方法に関する基本的な事項について、定期的に訓練を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 窒息事故等がないよう、安全確認を徹底し、危機管理体制を整えている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 食中毒防止のための点検項目を定めている。

放課後児童健全育成事業版
【内容評価基準】

A-1-(6) 安全と衛生の確保		評点	<input checked="" type="checkbox"/>	標準項目
A⑭	① 子どもの安全を確保する取組を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 毎日子どもが来所する前までに、施設整備や遊具等の安全点検、整理整頓、清掃等を行っている。
	コメント		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 安全管理に関する点検について、点検項目、点検頻度、点検者を定め、定期的に点検を行っている。
	児童会室内の点検、整理整頓などは子どもが来所する前までに行い、利用する子どもが少ない又は利用がない場合の土曜日に大がかりな清掃、整理整頓を行っている。外遊びの遊具に関しては、学校のものを使用しているため、何か異常が見つければ即座に学校に報告している。万が一怪我などの事故が起きた場合は、マニュアルに従い応急手当を行うとともに、保護者、上長、必要であれば医療機関への連絡も平行して行っている。保護者には緊急連絡先を最低でも二カ所以上の提出をお願いしており、必ず誰かに連絡が取れるようにしている。また、状況が落ち着いた後に事故が起きた時の状況を報告書として作成し、速やかに児童育成課に提出をしている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 放課後児童クラブにおける事故やケガの防止や発生時の対応についての方針を策定している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 子どもの来所経路や帰宅経路における安全確保について、計画及びマニュアルを作成し、保護者に周知している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 地域組織や子どもに関わる関係機関等に、子どもの来所・帰宅の経路等を伝え、地域の人々の理解と協力を得られるようにしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 子どもの主な行動範囲を中心とした地域の中での子どもの行動や環境を把握している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 子どもの病気やケガの場合、保護者と連絡をとれるようにしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク 事故やケガが発生した場合、その発生時刻や場所、その内容や対応の経過について正確な時刻の記述も含めて記録している。
A⑮	② 衛生管理に関する取組を適切に行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 施設整備の衛生に関して、点検項目、点検頻度、点検者を定めている。
	コメント		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 衛生管理に関する点検を定期的に行っている。
	トイレ含む施設内の清掃・消毒は毎日当番を決めて行っており、特に利用する子どもが少ない土曜日は重点的に行っている。また、年に2回、保護者に参加してもらい大掃除をしている。子どもに対しては、登室時及び外遊び後などの入室時に必ず手洗いをするよう指導しており、手洗いうがいに関するPOPを子どもの視界に入るように水場に掲示している。子どものおやつなど、食事の際には各テーブルに布巾を配布し、自分たちで机を拭くなどしている。工作などで散らかった場合は卓上のブラシと塵取りを貸し出し、身の回りの清掃は自分で行えるように支援している。職員も子どもと同様に、入室時に手洗いをし、爪や髪は適切な長さを保つことと研修を行い周知している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子どもと共に日常の衛生管理に努めている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 子どもが調理や準備をする際の衛生管理を徹底して行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 放課後児童支援員等の手洗いや爪切り、消毒等の衛生管理を徹底している。

放課後児童健全育成事業版
【内容評価基準】

A-2 保護者・学校との連携

A-2-(1) 保護者との連携		評点	<input checked="" type="checkbox"/>	標準項目
A⑩	① 保護者との協力関係を築いている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 子育てのこと等について保護者が相談しやすい雰囲気づくりを心掛けている。
	コメント		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保護者が放課後児童クラブの活動や行事に参加、協力する機会を設けている。
	保護者からの相談については、随時受け付けており、子どもに変わった様子があればお迎えの際に伝えている。子どもが1人帰りの場合は、電話で伝えている。これらの保護者とのやり取りは業務日誌と業務ノート記入し、職員間で共有している。保護者会とは、不定期であるが予算会議などで直接意見をもらえる場を設けている。また、年2回保護者の協力のもと大掃除を行っている。大掃除には、毎回多くの保護者が参加してくれており、保護者同士が交流する機会にもなっている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 保護者会や保護者が参加する活動や行事の機会を工夫して、保護者同士の交流の場を設けている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 保護者が放課後児童クラブの運営に協力する関係を築いている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 宿題への対応について、保護者と共通の理解を持てるようにしている。
A-2-(2) 学校との連携		評点	<input checked="" type="checkbox"/>	標準項目
A⑪	① 子どもの生活の連続性を保障するため、学校との連携を図っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 子どもの生活の連続性を保障するための学校との情報交換や情報共有を日常的に図っている。
	コメント		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 毎日の子どもの下校時刻や学校の行事等の予定について、学校と情報交換し、連携している。
	小学校との連携を図るため、小学校が発行している週報や学年便りをもらい学校側の予定を把握している。児童会側からは、学校施設を借りてイベントを行う際に必ず連絡をしている。年に2回、放課後子供教室と合同で児童育成課、社会教育課、小学校とで協議会を開催し、児童会内での様子や情報を共有している。児童の報告、児童会での問題点と改善方法の提案などを行い、学校側との情報共有を行うことで連携して取り組めるようにしている。新1年生が初めて登室する日は玄関まで迎えに行き、来所経路を教えている。小学校への連絡や協議会の出席などは、主任が役割を担い、連携強化に繋げている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子どもの来所経路や帰宅経路における緊急時の連絡方法について、学校と情報交換し、連携している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 子どもに関する情報を提供をしたり情報を得たりする際の、個人情報の保護や秘密の保持についてあらかじめ学校と取り決めていく。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 子どもや家庭の状況に変化や問題が生じた際には、連絡調整ができる関係を学校と構築している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 学校との連携に関する担当者を置いている。

放課後児童健全育成事業版
【内容評価基準】

A-3 子どもの権利擁護

A-3-(1) 子どもの権利擁護		評点	<input checked="" type="checkbox"/>	標準項目
A⑩	① 子どもの権利擁護に関する取組が徹底されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 職場倫理を具体的に明文化している。
コメント			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 放課後児童クラブにおける虐待等の子どもの心身に有害な影響を与える行為の禁止と早期発見について、明確な規定を設けている。
職場倫理は「放課後児童クラブ運営マニュアル」に明記され入社時に研修で学んでいる。このマニュアルは、いつでも読み返すことができるようにファイル化されている。職員による子どもの権利の侵害や虐待とみなされる行為の禁止については、児童虐待に当たってしまうような職員の子どもに対する不適切な接し方を入社時に動画研修で学び、いつでも見返せるようになっている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 職場倫理を研修等で共有し、遵守状況を確認している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 職員による子どもの権利の侵害や虐待とみなされる行為の禁止について研修等を実施し、職員間で共有している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 権利侵害の早期発見と対処のための具体的な取組を定めている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 子どもに影響のある事柄について、子どもが意見を述べ、参加することを保障している。